

にんぎょうとうげ



発行：独立行政法人 日本原子力研究開発機構
 人形峠環境技術センター 総務課
 岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550
 電話 0868-44-2211 FAX 0868-44-2502
 HPアドレス <http://www.jaea.go.jp/04/zningyo/index.html>

平成23年 年頭ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には、御家族とともに、楽しいお正月をお迎えになられ、新しい1年に向かって決意を新たにされたことと思います。また、年末年始休みなく、原型プラントの運転と人形峠のユーティリティ確保・警備等に当たっていただいた皆さん、本当にご苦労様でした。



人形峠環境技術センター
 所長 岡田 敏夫

昨年は、首相交代があり、尖閣諸島問題、朝鮮半島の緊張など国内、国外ともに激動の1年でした。一方でワールドカップサッカーでの日本チームの活躍、惑星探査機「はやぶさ」の快挙、2名のノーベル化学賞受賞などうれしいこともありました。

機構においては、鈴木新理事長、辻倉新副理事長の就任、もんじゅの運転再開と第2期中期計画の達成に向けてスタートの年となりましたが、予算面では機構全体に大変厳しい状況が続くことが予想されます。

しかしながら、2010年は人形峠にとって、大きな前進の年であったと思います。

最初に、最大の課題であるレンガ加工・搬出計画において、昨年12月13日にレンガ加工工場の運転を無事故・無災害で終了し、方面堆積場から搬入した掘削土を全てレンガに加工しました。製造したレンガは、約145万個になり、このうち約118万個は機構内の各拠点での使用及び一般頒布で搬出しました。また、三朝町においては、自治体としては初めて公園整備にレンガを活用していただき、11月12日には歩初め式を行いました。レンガ製造、使用に御協力、御支援賜りました皆さまに改めて厚く感謝申し上げます。今年6月の期限までに全量搬出の約束を果たしたいと最大限の努力をしております。

第二に、廃止措置についてです。製錬転換施設は本格的な解体に着手して4年目になりますが大きなトラブルもなく順調に進んでいます。また、濃縮工学施設での遠心機の処理も、目標の100台を早い段階で達成しました。ウラン濃縮原型プラントDOP-1の滞留ウラン除去・回収は、許認

可の遅れが生じたものの、原子力安全委員会の二次審査が進んでおり、今年は着手できることと思います。鉱さいダムの措置についても、準備工事に着手し、本格的な措置に向けて調査を進めていきます。製品ウランの売却も計画通り進んでおり、電力各社との廃棄物協議も合意を目指して鋭意交渉を進めていただいているところです。

ウラン系廃棄物の処理・検認技術開発及びブラドン効果研究等にも本格的に取り組み、着実に成果が出てきております。これらの技術開発は、人形峠でしっかりと取り組む技術課題であると認識しており、今年も体制を強化し、皆さんの力を結集して進めたいと思います。

これら一連の活動は、厳しい予算にもかかわらず、人形峠の皆さん一人一人が、各々の使命感と責任感を持って、工夫を凝らしながら業務に取り組んでいただいたことの結実と思っています。皆さんに改めて敬意を表するとともに感謝いたします。

安全活動については、昨年1年間、大きなトラブルはありませんでしたが、加工施設の保安検査で定期評価の手続きの不備についての指摘と、専用水道施設からの沈殿物流出というトラブルがありました。これらについては、原因を究明し、マネジメントシステムを活用して不適合管理を着実にやり、是正、予防措置を進めているところです。こういった普段の努力を継続し、安全活動に対する自らの役割をしっかりと自覚して、安全文化の醸成を図っていくことが重要です。

最後になりますが、人形峠の廃止措置を進めるうえで、安全最優先は当然ですが、地域の皆様の御理解と御協力を得て、地域とともに事業を進めていくことが重要です。また、昨年から力を入れて取り組んできました産学連携推進業務にも一層の充実を図っていききたいと思います。

これからの一年間は、さらに厳しい環境が予想されますが、皆さんの創意と工夫によって、核燃料施設の廃止措置、鉱山跡措置技術及びウラン系廃棄物の処理処分技術開発を計画的に着実に進め、廃止措置技術構築のフロントランナーとしての自負を持って安全最優先で業務を遂行していただくようお願いして新年の挨拶と致します。

～人形峠について～ 安全管理について

人形峠センターの安全管理には、一般の工場などと同じ安全管理活動(一般安全)と、原子力関連施設特有の事項として、放射性物質の安全管理活動(放射線安全)があります。

①一般安全

基本的には一般の工場などと同じ様に、安全な作業環境を保つため、各職場で毎月整理整頓を実施したり、安全に係るパトロールで作業現場の状況を確認し、事故やけがにつながる原因を取り除く活動を実施しています。



パトロールの風景

また、設備についても日々の点検や定期的な検査を行い、設備が持つ安全機能が確実に機能することを確認しています。なお、安全を確保する上で特に重要な設備等については、自分達で行う検査の他に国による検査が行われ、第三者により正常に機能することが確認されています。

②放射線安全

センター内の放射性物質を取り扱う施設では、施設内での放射線測定を実施し、放射性物質の漏えいや計画外の被ばくなどが無いことを確認しています。また、施設から出る排気、排水についても、放射性物質濃度を測定・監視し、施設

外に放射性物質が放出されていないことを常時監視しています。

加えて、センターや捨石たい積場、鉱山跡地がある周辺地域(鏡野町、三朝町、湯梨浜町、岡山市、遠くは兵庫県)の空気、土壌、水等についてサンプリングを行い、周辺環境の監視を行っています。



監視の風景

③従業員の教育

センターで働く従業員は安全上必要な教育を受けて配置されます。就業後も自分が働く職場について、守るべき法律や決まり事などはもちろんですが、安全を担保するために必要な手法を常に学んでいます。

一例としては、作業前に危険性を検証し災害の発生を防止する手法として「リスクアセスメント」を実施しています。リスクアセスメントは様々な企業で実施されており、労働災害を防止する上で有効な取り組みです。



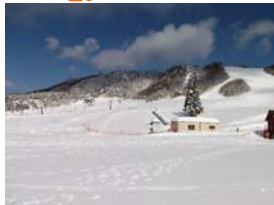
安全に係る教育中

このような活動を通して、安全に対する意識を高め、規則・ルールを守り、確実に実行することで、従業員の安全、施設の安全、地域の安全を担保しています。

地域情報

恩原高原スキー場「パノラマゲレンデ」

今年は雪が多く、雪質も非常にきめ細やかでウィンタースポーツには最高のシーズンとなりそうです！岡山県下最大規模の恩原高原スキー場では、日が昇る前から行うゲレンデの圧雪作業が大変とのことですが、来場者からの「雪質がよくて滑りやすかった」との言葉にその苦労も報われるそうです。スキー場には、パノラマゲレンデとレイクサイドゲレンデがあり、初級コースから上級コースまで充実しており、今年は6万人の来場者を目標にされています。



青空の下サイコーです

パノラマゲレンデには、リフトではなくベルトコンベアが設置されているキッズパークや無料のソリ専用ゲレンデがあり、子ども連れでも安心して楽しく遊べます。



また、新アトラクションが登場！！2人乗りのエアボートに乗りスノーモービルに引っ張られて滑る「スノーラフティング」と浮き輪のようなゴム製のチューブに乗って斜面を滑る「マックスチューブ」は県内ではここでしか体験できません。童心に帰って子どもと一緒にしゃべり、とってもテンションの上がる乗り物です。見た目以上にスリル



スピード感がたまらないスノーラフティング(上)とマックスチューブ(下)

があって気持ちいいですよ！！

思いっきり遊んだ後は、レストハウスでこのスキー場ならではの食事が楽しめます。人気メニューはスキー場定番、醤油ラーメンとカツカレーですが、お団子を恩原湖にできる氷紋に見立てた「恩原氷紋汁」、地元の甘いトマトを使った塩味の「鏡野らーめん」や鏡野町特産の唐辛子を使った味噌ベースの「辛美人らーめん」など、ここに来れば鏡野町のおいしいものを食べつくせる！鏡野ラーメン(左)辛美人ラーメン(右)というのがコンセプトのようです。



あったかい氷紋汁



町内で最近売り出し大人気の猪や鹿などの肉を使った「マタギ弁当」も予約をすればここで食べられます。

冬のイベントも盛りだくさん♪ 1/29恩原高原氷紋祭りはもちろんのこと、2/2にはスノーシューツアーをするそうです。運が良ければ、うさぎに会えるかも!? 2/26の雪合戦大会で燃え、国際大会に行きましょう！！

リフト券はお得な親子割引やインターネット割引もありますよ！スノーレジャーから縁遠かった方も、今シーズンは恩原高原へ行ってみませんか。きっと満足な一日が過ごせること間違いなしです！！

取材 (N.M・H.H)

恩原高原スキー場 苫田郡鏡野町上齋原2037

電話 0868-44-2808

http://www.ombara-kogen.com/ski/